

「平成 20 年（2008 年）岩手・宮城内陸地震」について（第 3 報）

震源要素（暫定値）

震源の精査をした結果、震源要素（暫定値）は次のとおりとなりました。

マグニチュード	7.2
深さ	8km
緯度	北緯 39 度 01.7 分
経度	東経 140 度 52.8 分

余震活動の状況

12 時 00 分現在、震度 1 以上を観測した余震は 95 回です（最大震度別地震回数表参照）。これまでの最大余震は、09 時 20 分に発生した M5.6 の地震（最大震度 5 弱）です。

今後 1 週間程度は、活発な余震活動が継続するものと考えられ、場所によっては震度 6 弱を観測するような余震が発生する可能性があります。

防災上の留意事項

揺れの強かった地域では、土砂災害や道路の崩壊、家屋の倒壊などの被害が発生しています。総務省消防庁（6 月 14 日 11 時 30 分現在）によると、今回の地震により、死者 1 名、負傷者等 64 名などの被害が確認されています。

揺れの強かった地域では、土砂崩れや家屋の倒壊などの危険性が通常より高くなっています。余震により、被害が拡大する可能性がありますので、作業等には十分注意して下さい。

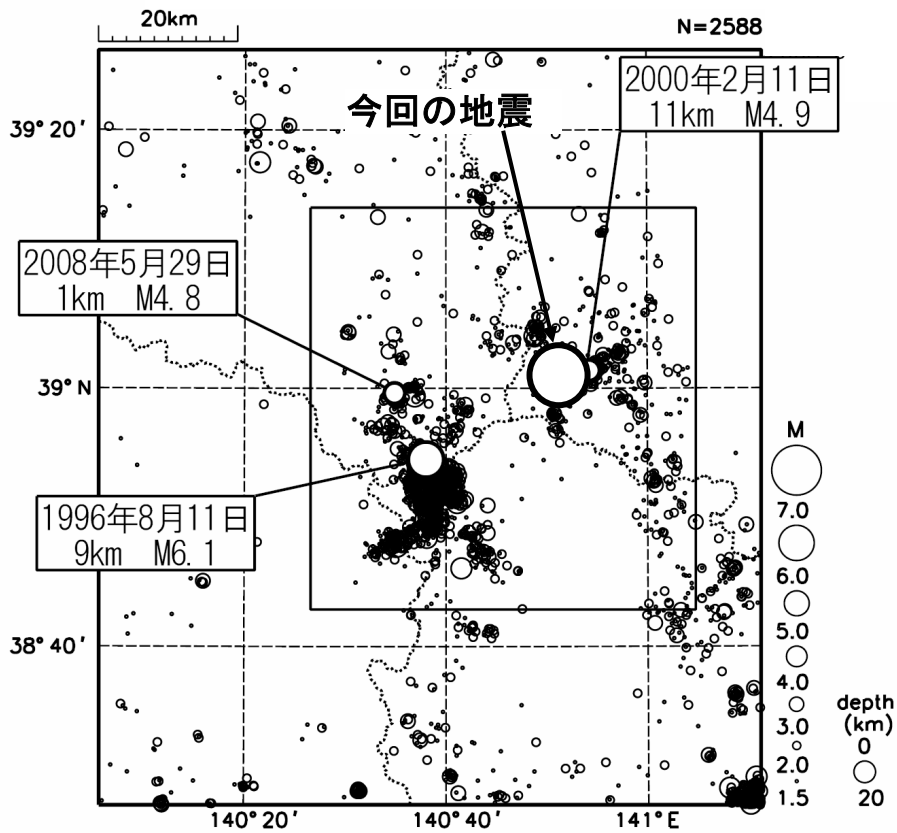
地震機動観測班の出動

気象庁は、緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）として、この地震により震度 6 強が観測された地域を中心に、被害及び地震動の調査のため、気象庁本庁（2 名）、仙台管区气象台（2 班各 3 名）、盛岡地方气象台（2 班各 3 名）および秋田地方气象台（3 名）より地震機動観測班を派遣しました。

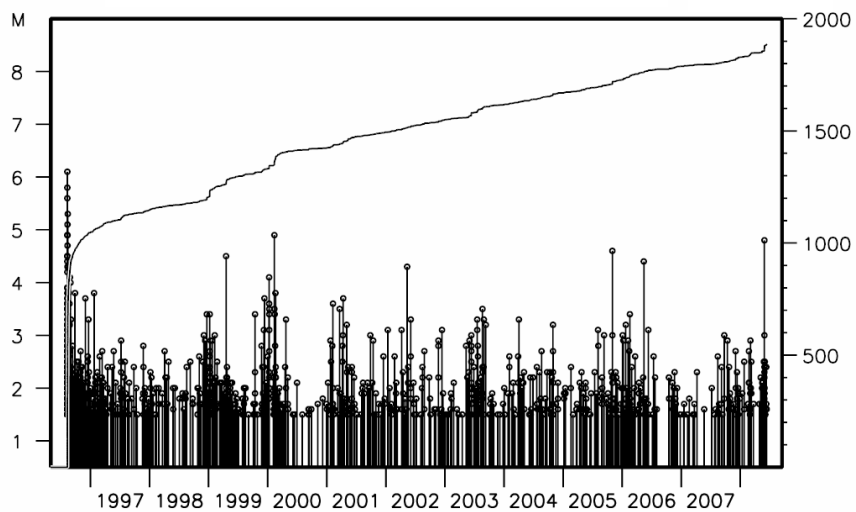
2008年6月14日 岩手県内陸南部の地震 (発生場所の詳細)

震央分布図

(1996年8月～2008年6月14日09時、深さ20km以浅、M4.0以上)

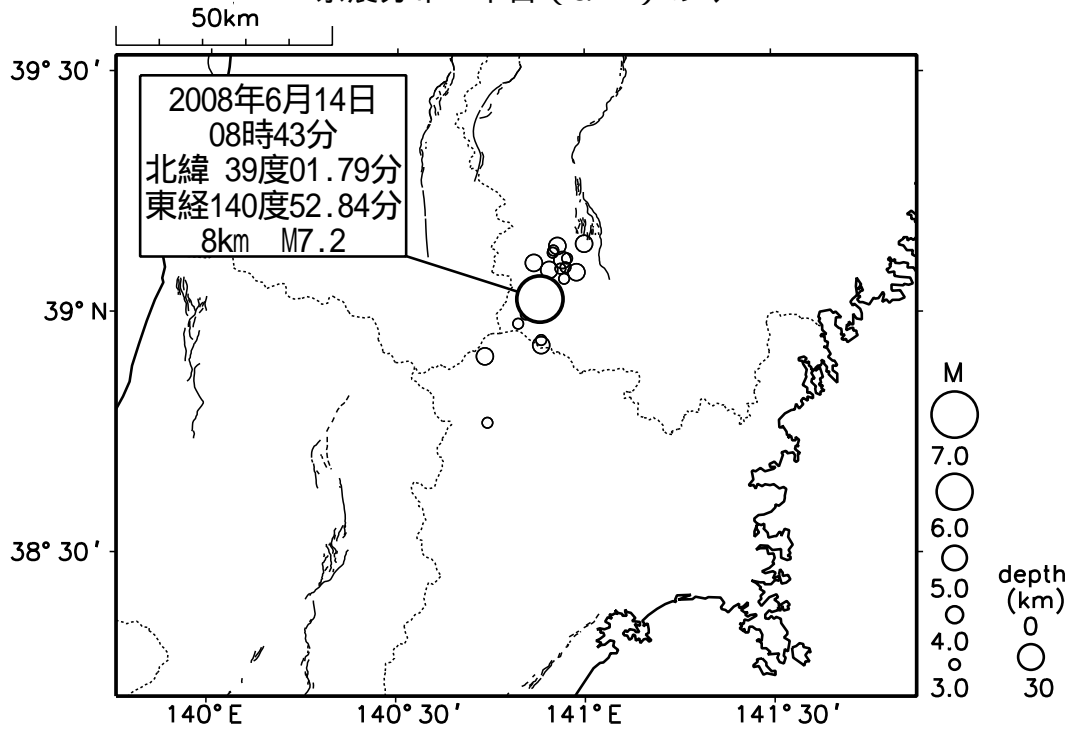


上図の四角で区切った領域内の地震活動経過および回数積算図

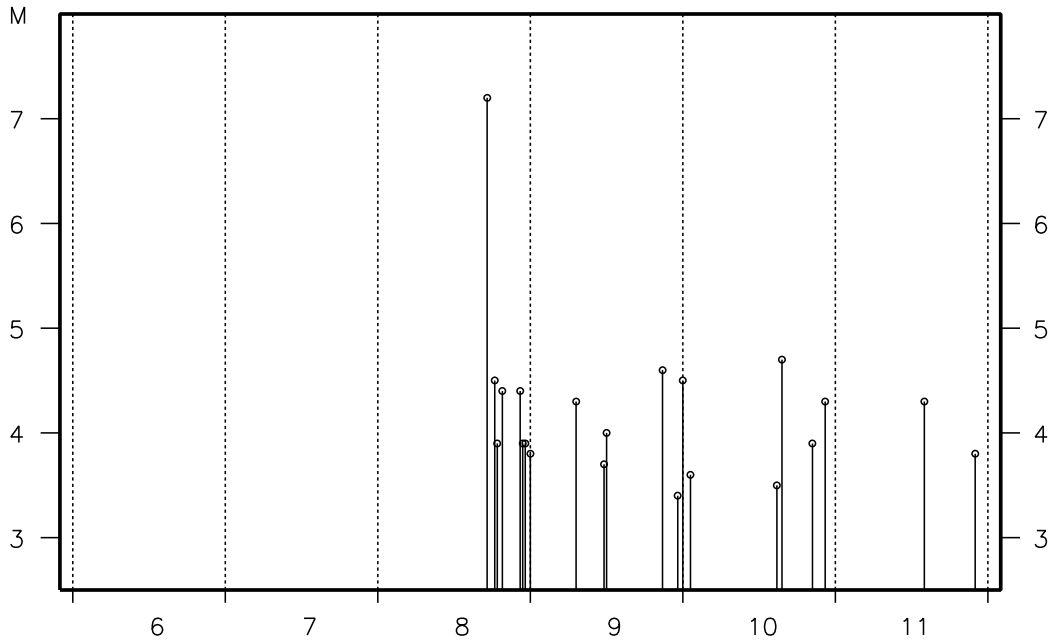


横軸は時間、縦軸は左がマグニチュード、右が地震の積算回数。折れ線は地震の回数を足し上げたものであり、縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

余震分布 本日(6/14)のみ



震源が決まったもののみ

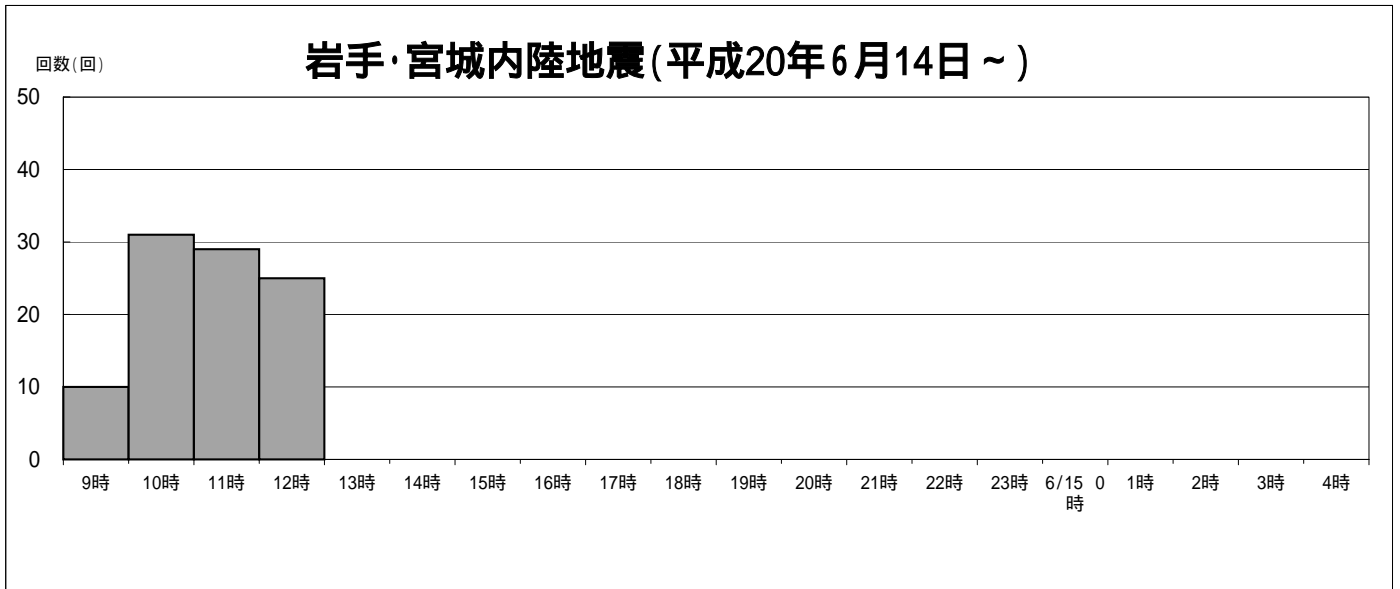


平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震(平成20年6月14日～)

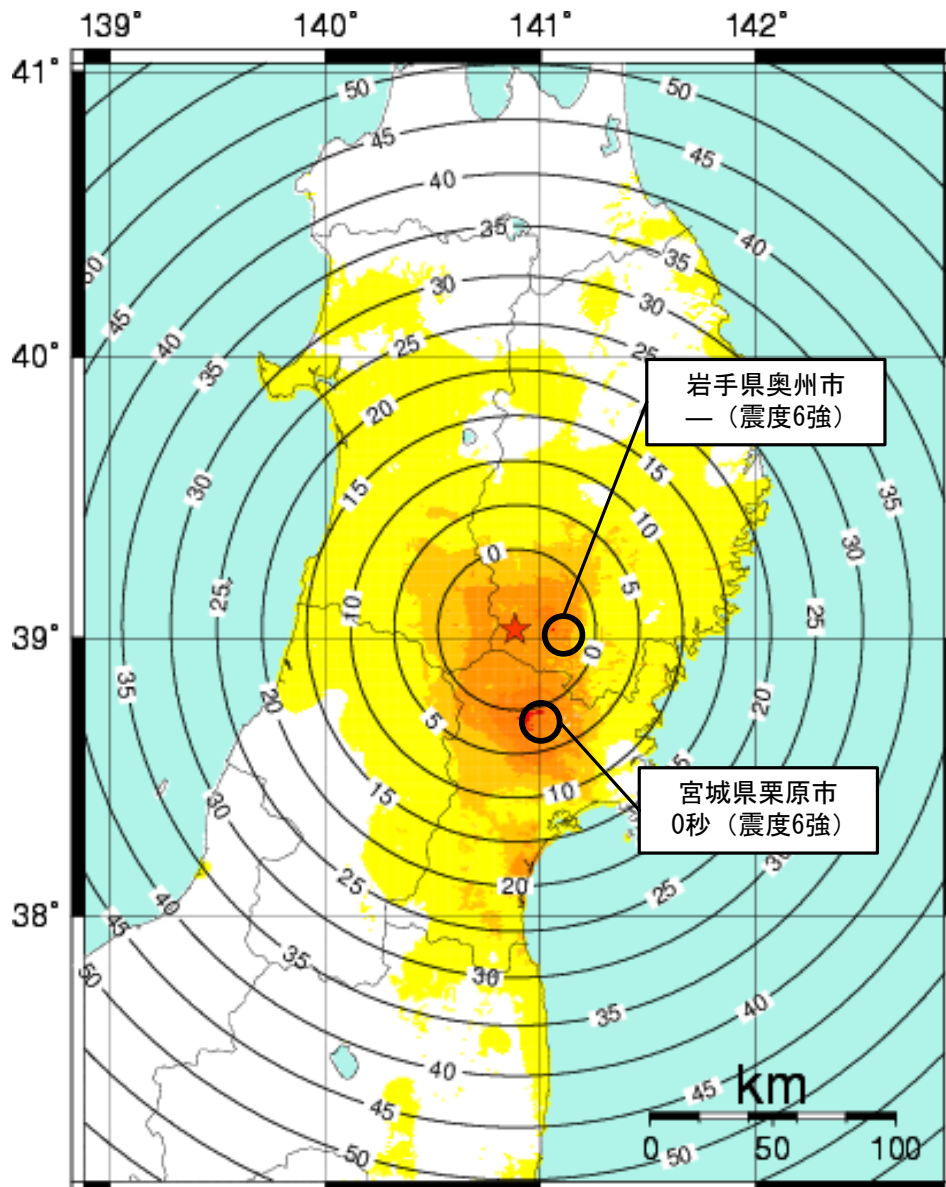
震度1以上を観測した地震の最大震度別回数表(本震を除く)
*この資料は速報値であり、後日の調査で変更されることがあります。

H20.06/14

時間帯	最大震度別回数									有感回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計	
00:00 - 01:00										0	0	
01:00 - 02:00										0	0	
02:00 - 03:00										0	0	
03:00 - 04:00										0	0	
04:00 - 05:00										0	0	
05:00 - 06:00										0	0	
06:00 - 07:00										0	0	
07:00 - 08:00										0	0	
08:00 - 09:00		2	4	4						10	10	
09:00 - 10:00	12	12	6	0	1					31	41	
10:00 - 11:00	10	16	1	2						29	70	
11:00 - 12:00	12	10	3							25	95	
日累計	34	40	14	6	1	0	0	0	0	95	-	
総計	34	40	14	6	1	0	0	0	0	-	95	



緊急地震速報(警報)の 発表から主要動到達までの時間



★ : 震源

平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震の概要(暫定値)
北緯39度01.7分、東経140度52.8分、深さ8km、マグニチュード7.2